

# 施工時活用評価表

様式6-1

技術名 一体化したRC構造による水路補強工法(SPガード工法)	登録No.
	28D2001

施工内容	
施工年度	平成29年度
発注機関	新潟地域振興局農林振興部
工事名	亀田郷地区 糸魚堀排水路第3次工事
施工地	新潟市江南区松山地内
施工数量	1,000m <sup>2</sup>

**新技術の概要**  
 腐食した鋼矢板水路の補修工法である。コンクリートパネル・トラス筋・コンクリート・鋼矢板の一体構造とする事で、施設の長寿命化と、断面力の補強を行う技術である。補強を伴う鋼矢板の補修工で優位性を発揮する。

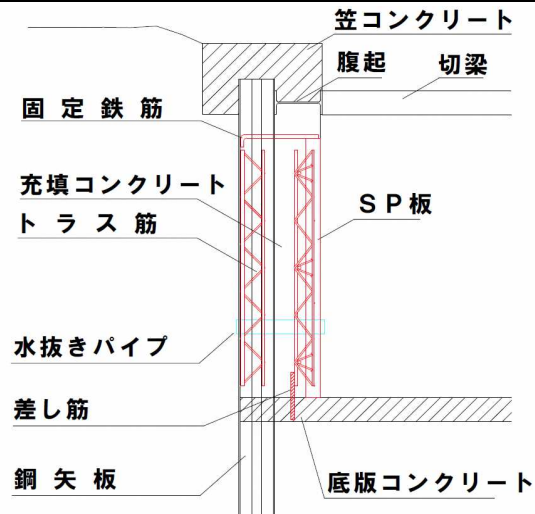
**活用評価結果**

比較した従来技術	セラミック金属補修工法	
項目	評価	評価内容
経済性	◎	材料費が安く、仮囲養生費や下地処理費が軽減され、経済性は向上。
工程	◎	下地処理が低減された。また、機械施工のため、工程は短縮。
品質出来形	◎	RC構造となり、耐久性は向上。壁面がなめらかで、通水能力と美観は向上。
安全性	□	有機溶剤が不要となるが、重機使用による危険増加があり、安全性は同程度。
施工性	○	機械化されているため、施工性は向上。
環境	□	有機溶剤による水質汚染の心配が無いが、環境は同程度である。
その他		

◎:優れている    ○:やや優れている  
 □:従来技術と比べて同程度  
 △:やや劣っている    ×:劣っている

活用上の留意点	
---------	--

新技術問い合わせ先	
会社名	株式会社 吉田建設
所属部課	技術管理部
担当者	杉田 楠巳
TEL	0256-72-2391



工法概念図



施工完了



施工状況